



「2022 日化協 R C 委員会活動報告会/RC 賞受賞講演会」

..... 次 第

2022年7月5日(火) 13:15~16:40

WEB開催

13:00	開場 (アクセス受付開始)
13:15	開会挨拶 (一社)日本化学工業協会 常務理事 尾崎 智
13:20	審査委員長講評 東京大学 工学系研究科 化学システム工学専攻 教授 工学博士 平尾 雅彦 氏
13:50	レスポンシブル・ケア (RC) 賞 受賞講演 RC大賞 花王株式会社 SCM 部門
14:20	RC 審査員特別賞 三菱ケミカル株式会社 富山事業所
14:50	RC 優秀賞 三井化学株式会社 岩国大竹工場製造1部環境課
15:20	休憩
15:40	講演:「化学産業のカーボンニュートラルについて」 経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐 鈴木 望 氏
16:40	閉会

各講演開始時間は、全て記載時間で固定とし、前の発表が早く終了しても繰り上げは行いません。
また途中に休憩時間を設けておりませんが、各講演は、発表15分+質問10分を標準とし、次の講演までに5分程度のインターバル(切換え準備時間)が入る予定です。

注) 各講演のテーマ・概要につきましては、次頁以降をご参照下さい。

>>>> 講演内容紹介 <<<<

【1】日化協レスポンシブル・ケア賞 受賞講演

レスポンシブル・ケア賞は、レスポンシブル・ケア（RC）活動に携わっている方々の活動意欲の向上と活動の活性化とを目指して、2006年に創設されました。そして2013年度の第8回からは、安全表彰・技術賞と並ぶ日化協3賞の一つに昇格させ、現在に至っております。

具体的には、RCの6コード（保安防災、労働安全衛生、環境保全、コミュニケーション、化学品・製品安全、物流安全）に関する活動の普及や推進に優れた功績を残した 或いは 貢献をした事業所・部門・グループまたは個人を表彰しています。

2021年度は、以下の3件をRC大賞、RC審査員特別賞、RC優秀賞として表彰しました。

【日化協RC大賞】 1件

花王株式会社 SCM 部門

テーマ：「先進的 AI 活用によるバッチプロセス異常予兆検知」

活動：近年、製造現場では、オペレータの若年化や少人数化が進んでおり、それに伴う運転監視負荷・ストレス増大や、漏洩・品質異常等のトラブル発見遅れへの影響が懸念されている。花王和歌山工場では、多品種バッチプロセスを対象にオンライン異常予兆検知システム BiGEYES を導入し、運用を開始した。成果として、運転監視オペレータの負荷を軽減すると共に、労働安全性向上、品質安定化等を達成することができた。さらに、本システムの運用を通じた業務の見直し／標準化により、属人化を解消し、AI モデル作成を通じて、製造技術の伝承にも貢献できた。

【日化協RC審査員特別賞】 1件

三菱ケミカル株式会社 富山事業所

テーマ：「安全文化醸成のための種々取り組みと成果」

活動：三菱ケミカル富山事業所では、2016年の重篤な労災発生後に安全文化診断を受診し、その結果を受け、グループ会社・協力会社を含めた事業所全員で安全の仕組み作りや意識改革、教育設備の充実等、種々施策に取り組んだ。一例として定修を分散し、年間を通して工事を平準化することでスポットの入場を減らした他、協力会社においても労災情報の共有や三菱ケミカルと同じ安全教育を受講することで事業所全員の安全レベルの向上を図った。2020年11月30日にゼロ災1,000日を達成し、現在も継続中である。

【日化協RC優秀賞】 1件

三井化学株式会社 岩国大竹工場製造1部環境課

テーマ：「三井化学岩国大竹工場 活性汚泥安定化活動」

活動：岩国地区のプラント排水は活性汚泥法により処理されているが、排水の汚濁負荷が高いため、海域へ放出される排水の不溶性浮遊成分濃度（以下「SS」）が協定で定められた規制値付近まで上昇し、運転対応に苦慮する場面があった。三井化学岩国大竹工場では、運転条件とSSとの相関を鋭意解析し、SS上昇の原因と影響を同定することで安定運転の条件を導き出した。結果としてSSが高い排水を海域へ放出するリスクを大幅に低減し、環境負荷の削減につながった。過去の膨大な運転データの整理と解析には関係部署が参加し、活動を通じてオペレータの排水処理運転に対する技能・意識向上につながった。

【2】講演：「化学産業のカーボンニュートラルについて」

講演概要：あらゆる産業の競争力強化やカーボンニュートラルを支える非常に重要な役割を担う化学産業について、令和4年4月に取りまとめた「新・素材産業ビジョン（中間整理）」を中心に、国際競争力を維持・強化しながら2030年46%削減、2050年カーボンニュートラルを達成するための方向性をご紹介する。

講師紹介： 鈴木 望（すずき のぞみ）氏

平成20年	3月	東京大学法学部第2類（公法コース）卒業
平成20年	4月	経済産業省入省（商務情報政策局情報処理振興課）
平成21年	6月	同商務情報政策局情報経済課
平成22年	6月	内閣官房知的財産戦略推進事務局
平成24年	6月	経済産業省地域経済産業グループ地域経済産業政策課
平成26年	6月	経済産業省貿易経済協力局戦略輸出室
平成26年	10月	資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部 国際室
平成28年	6月	内閣官房日本経済再生総合事務局
平成30年	6月	経済産業省製造産業局素形材産業室
令和2年	7月	ハーバード大学 客員研究員
令和3年	7月	経済産業省製造産業局素材産業課

以上